

授業と授業をつなぐ学習問題事例（黄色の部分） 使い方：この学習問題を「宿題」として示し、子どもたちが考えてきたことを次の授業で交流させてみましょう。

中学校社会科地理的分野課題例 第1部 世界のさまざまな地域 3章 世界の諸地域		4節 北アメリカ州		
単元を貫く課題(主題)		学習指導要領解説から<主題例>大規模農業と工業の発展 “なぜアメリカやカナダは農業生産力だけでなく工業生産力も高いのか” という問いを立て、アメリカ合衆国、カナダの世界貿易に占める地位、小麦やトウモロコシの生産と貿易、農産物の生産分布、工業都市の分布、農産物・工業製品の流通システム及び大量消費する人々の暮らしなどを追究すると、巨大な生産と消費の人々の生活様式が分かり、北アメリカの地域的特色の理解につながる。		
単元展開例（授業と家庭学習をつなぐ展開）				
<p>ア. わかりやすい学習問題の提示…何について、どのような面から（どのような立場から）考えるのか。 イ. 学習問題を考える目的の提示…何のためにこの学習問題について家庭で考えるのか。次の授業で何をするのか。 ウ. 学習問題の答えの評価方法の提示…この学習問題に取り組み、どのような力がつくのか。</p>				
本 時 の 展 開 例	① 「1.北アメリカの多様な自然環境 2.多くの民族がくらす北アメリカ」		② 「3.世界に影響を与える生活と文化 4.世界をリードする大規模な産業（1）工業」	
	学習課題	なぜアメリカ合衆国に多くの人が集まるのだろうか。	学習課題	アメリカの影響を受けているものはなんだろう。
	発問1	アメリカ合衆国の地形と気候の特色を、西経100度で分けて整理しよう。	発問1	私たちの生活にみられる、アメリカ合衆国で生まれたものや文化の例を三つ以上あげてみよう。
	資料	教科書 p.78～79 本文 ほか 地図帳 p.46 資料⑤気温 NHK for School 10min ボックス「北アメリカ州」scene1「北アメリカ大陸と西インド諸島の島々」scene2「ミシシッピ川、プレーリー」scene3「グランドキャニオン、シリコンバレー」scene4「ロッキー山脈、イヌイット」scene5「熱帯気候のカリブ海」	資料	教科書 p.82～83 本文 教科書 p.82～83 資料①高速道路沿いの大型ショッピングセンター、資料③人口100人あたりの自動車保有台数、資料④ミュージカルのチケット売り場に並ぶ人々、資料⑤いろいろな国の言語で書かれている清涼飲料水の看板、資料⑥アメリカ合衆国のハンバーガーチェーンのある国・地域
	予想される答え	西経100度を境に、西は乾燥したグレートプレーンズからけわしいロッキー山脈、さらにその西側に南はカリフォルニア半島から北はシアトルまで続く太平洋に面した西海岸がある。また、さらに北上するとカナダをはさんで、北極に近いアラスカがある。東は比較的降水量の多いプレーリーと、ミシシッピ川が流れる中央平原、さらにその東側にはなだらかなアパラチア山脈があり、それをこえると大西洋に面した東海岸がある。東海岸の一番南には、フロリダ半島がのびている。(教科書 p.78④北アメリカ州の自然を読図しよう。)	予想される答え	郊外に広い駐車場をもつショッピングセンター、ジーンズ、Tシャツ、ファストフード、コーラ、自動車、高速道路 など。
	発問2	なぜアメリカ合衆国に多くの人が集まるのだろうか。	発問2	なぜアメリカの工業は発達し、世界一の工業国であり続けるのだろうか。
資料	教科書 p.80～83, 88 本文 教科書 p.81 資料④移民の流入と開拓地域の拡大、資料⑥メジャーリーグの選手たちと外国人選手の出身国・地域 NHK for School 10min ボックス「北アメリカ州」scene6「増加し続けるヒスパニック」	資料	教科書 p.83, p.86～88 本文 教科書 p.86～87 資料①航空機の組み立て工場、資料②おもな工業製品の輸出額の内訳、資料③アメリカ合衆国とカナダのおもな鉱工業、資料④アメリカ合衆国・カナダ・メキシコの貿易相手国、資料⑤先端技術産業の中心地シリコンバレー NHK for School 10min ボックス「北アメリカ州」scene7「南部経済の成長、北部工業の衰退」	
予想される答え	〔関連する本文〕 多くの人々が豊かな生活や自由を求めてやってくる。(アメリカン・ドリーム) 言葉も文化も違う人々が世界中から集まっているため、この国(アメリカ)では、それぞれの出身国の文化が尊重されており、新しい文化も生まれています。(新しい文化が生まれる土壌がある) →カナダも同じように移民が多く、イギリス系、フランス系などそれぞれの言語や文化が大切にされている。	予想される答え	・鉱産資源が豊富(今は石油)。 ・「流れ作業」など効率よく大量に生産する仕組みを整えた。 ・先端技術産業(航空機・宇宙産業・コンピュータ産業など)がさかん。 ・多国籍企業がたくさんある。 など	
授業と授業をつなぐ学習問題(次の授業までにやってくる学習問題)	私たちの生活にみられる、アメリカ合衆国で生まれたものや文化の例を三つ以上あげてみよう。	授業と授業をつなぐ学習問題(次の授業までにやってくる学習問題)	グラフを読んで、日本がアメリカ合衆国から輸入しているおもな農産物を三つあげよう。(予習問題)	
学習課題	なぜアメリカ合衆国の産業は、世界をリードするのだろうか?その理由を説明しよう。	学習課題	なぜアメリカ合衆国の産業は、世界をリードするのだろうか?その理由を説明しよう。	
発問1	グラフを読んで、日本がアメリカ合衆国から輸入しているおもな農産物を三つあげよう。	発問1	グラフを読んで、日本がアメリカ合衆国から輸入しているおもな農産物を三つあげよう。	
資料	教科書 p.85 資料⑦日本のおもな農産物の輸入先 教科書 p.85 地理のポイント NHK for School 10min ボックス「北アメリカ州」scene8「世界有数の農業国」scene9「広大な地域の大規模灌漑農業」scene10「遺伝子組み換え作物の開発」	資料	教科書 p.85 資料⑦日本のおもな農産物の輸入先 教科書 p.85 地理のポイント NHK for School 10min ボックス「北アメリカ州」scene8「世界有数の農業国」scene9「広大な地域の大規模灌漑農業」scene10「遺伝子組み換え作物の開発」	
予想される答え	小麦(60.4%) 大豆(71.2%) オレンジ(70.7%) 補助発問1: この数字を見てどう思う? →日本はアメリカにおもな食糧を頼っている。アメリカからの輸入が止まったら、日本の食生活に影響が出る。 補助発問2: なぜアメリカは多くの農産物を輸出することができるのだろうか。 →広大な土地で、自然条件にあった作物を、大型機械を使って、さらにインターネットで穀物の国際価格や気象などの情報を集め、効率的な作付けや出荷を考え、効率よく大量に作るから。ほかに、遺伝子組み換え作物の開発など。「穀物メジャー」の存在。	予想される答え	・世界中から多くの人々が集まり、活躍するチャンスがあるから。 ・多くの鉱産資源があるから。 ・土地が広いから。機械による大量生産がしやすい。 ・新しい技術を開発する力があるから。(例:シリコンバレーなど) ・安い労働力が集まるから。(例:ヒスパニックや中南米、アジアからの移民の人々など) ・世界の産業をリードする技術や人材が集まり、さらにはそこから生まれたものを世界中に発信する力があるから。 ↓ 一人三つ以上考えた後、グループで紹介し合ったり、全体で紹介し合ったりすることで、アメリカ合衆国が世界をリードする理由として、もっともふさわしいものを考える。	
単元で学習したことを使って考える学習問題	【授業中に出た他の人の意見も参考にして】 なぜアメリカ合衆国の産業は、世界をリードするのだろうか。その理由を説明しよう。(ふりかえりシートに記入)	単元で学習したことを使って考える学習問題	【授業中に出た他の人の意見も参考にして】 なぜアメリカ合衆国の産業は、世界をリードするのだろうか。その理由を説明しよう。(ふりかえりシートに記入)	